

2022年3月

第138号

# ぱれっと



(株)北日本ベストサポート  
Tel. 018-883-1888

## 「熱い戦い」と「感動」と「不可解な動き」

オリンピックは「平和の祭典」である。フェアプレーで持てる力を最大限発揮しようとする選手たちの姿を見て感動を覚える。

北京で開催されていた冬季オリンピックが2月20日閉幕した。3月4日からは引き続きパラリンピックが開催される。

コロナが世界中でまん延するなど厳しい環境の中での開催となったが、選手たちの精一杯のプレー、挑戦する姿からは大きな感動をいただいた。

日本選手団は前回の平昌大会のメダル獲得数13個を大幅に上回り過去最高の18個を獲得した。

スノーボード・ハーフパイプの平野歩夢選手、ジャンプ・ノーマルヒルの小林陵侷選手、スピードスケート1000mで高木美帆選手がそれぞれ金メダルに輝き、その他、銀6個、銅9個を獲得したのである。

特に、高木美帆選手は日本選手団の主将を務め、3000m・1500m・1000m・500m・パシュートの5種目の競技にエントリーした。過密スケジュールの中、心身ともに疲労が蓄積し、食事も白米と納豆しか喉を通さず、ゼリーなどでエネルギーを補給したと言われている。その中で3000mを除く4種目で金1個・銀3個を獲得し、うち2種目で五輪新記録を打ち出すという快挙を成し遂げたもので拍手喝采と行きたい。なお、母校の帯広南商高校舎のガラス戸に「誰かができるんだから、あなたでもできる! みほ」と記し、後輩たちに「挑戦する大切さ」を伝えている。

また、カーリング女子のロコ・ソラーレも変わり種のチームだ。日本代表になる大会でも大苦戦の末代表の座を射止め、今回の五輪でも絶望視されながら予選リーグで4位に滑り込み、準決勝前日破れた予選リーグ第1位のスイスを破り、決勝では残念ながら英国に敗れたものの銀メダルを獲得した。

ロコ・ソラーレは北見市常呂町出身の選手で構成され前回の平昌大会で「もぐもぐタイム」が話題となり、ふるさと納税の返礼品が人気を博し、2021年度も既に17億円を突破し、その一部で「カーリング場」が建設されるなど、地元にとってはなくてはならない存在となっている。

一方、平和の祭典とは裏腹に、不可解な動きが目についた期間でもあった。

ロシアがウクライナ国境に大軍を配備し、緊張が極度に高まっているほか、ロシアはドーピング問題で国としての参加は認められていないにも関わらず、プーチン大統領が五輪開会式に招待されたり、大会運営でもロシアのフィギュア選手のドーピング問題・日本選手その他、有力選手のみを抜き打ちでウエアの検査をして失格させたり、ポイントで争われる競技のポイントが曖昧だったり、今後課題を残した大会でもあった。今後の改善が望まれる。

## 最善の努力



最善の努力というのは、あらゆる条件を考え、いかようにしたら最終の目的を達し得るかというような、あらゆる状況を考えることです。

したがって身体の状態、その他も考えて、長くやれば身体がもたないような努力は決して最善の努力ではないと思います。

実は若い時の私もそうでありましたが、「ハチマキをして目をつり上げて」というような努力は格好はよいのでありますが、そんな努力で本当に素晴らしい業績とか世界的な成果をあげるというのはおそらくできないと思います。

命をかけた努力というものはみなある意味では非常にゆとりを持った、しかし、いかなる場合にも決して揺るぎのない努力であります。

それはあらゆる知恵とあらゆるおろかさとを混ぜたような努力であります。

## 夢と情熱

残念ながら私は、生涯を通じて自信というものはついに持つことのできなかつた人間であります。

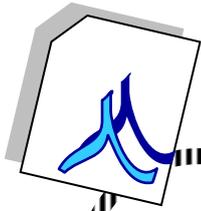
しかし、夢をみながら、それにひたむきな情熱を注いで進むということはできました。それが今日までの私の生涯です。もともと自信を持てばそれに越したことはないかもしれませんが、しかし自信はなくても燃える情熱と実行さえあれば必ず事はなるのであります。

自信の持てる人は持ったらよいと思います。かといって、安っぽい自信や鼻先の自信は、どうも危ないような気がしてなりません。

努力と実行という裏付けのない自信は、むしろ有害無益のような気さえ致します。私は自信を持てませんから、自信のかわりに夢と情熱、それに絶えず祈りを持ってやり続けてきました。

## 憂患に生き 安楽に死す

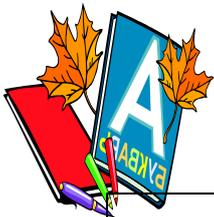
孟子は「憂患に生き、安楽に死す」と言っておりますが、いつの時代にも困難はあったのであり、なすことある人間においては、むしろ苦難が大きければ大きいほど人間ののびが大きかったのであります。逞しい精神の持ち主にとっては困難は成長への興奮剤でこそあれ、滅亡への道ではありません。



## 江崎 玲於奈 (物理学者・ノーベル賞受賞者)

- 1925年3月12日(大正14年) 大阪府中河内郡(現在の東大阪市)に建築技師の江崎壯一郎の長男として生まれ、京都市で育つ。京都市立第四錦林小学校から、同志社中学校・第三高等学校を経て東京帝国大学に入学。
- 1947年(昭和22年) 東京帝国大学理学部物理学科卒業。川西機械製作所勤務。さらに、富士通テン株式会社に勤務。
- 1956年(昭和31年) 東京通信工業(現在のソニー)に勤務。
- 1959年(昭和34年) 東京大学から理学博士の学位授与される。
- 1960年(昭和35年) 米国IBMトーマス・J・ワトソン研究所勤務。主任研究員。
- 1965年(昭和40年) 日本学士院賞受賞
- 1973年(昭和48年) ノーベル物理学賞受賞。  
半導体内および超伝導体内の各々におけるトンネル効果の実験的発見による。
- 1974年(昭和49年) 文化勲章受章。
- 1975年(昭和50年) 日本学士院会員。
- 1976年(昭和51年) 全米科学アカデミー外国会員。
- 1992年(平成4年) 筑波大学学長に就任。
- 1998年(平成10年) 勲一等旭日大綬章受章。

## オススメの *BOOK*



### 「すばらしい 人体」(あなたの体をめぐる 知的冒険)

著者 山本 健人 発行先 ダイヤモンド社

著者は2010年京都大学医学部卒業。医学博士。

本書は、私たちが持つ体の機能がいかに神秘的に作られているか。例えば頭を動かしても走っていても目の焦点はぶれない。健康な人は長期間ベットに横たわっていても床ずれが起きないのはなぜか。これまで、人類の長い歴史の中で数々の感染症に悩まされてきた。細菌とウイルスの相違、専門的なものから日常生活に関連する事柄までわかりやすく解説している。肛門の働きもすごい、実弾と空砲をはっきり区別して使い分けしている。すごいですね。



## 生活の中で考えられるリスクと保険

結婚、子育て、住宅取得など将来のライフプランを立て実現するためにはどの程度お金が必要か、そのお金をどのように準備するのか、とても大切なことです。

そして、生活設計を行う上で重要な視点は人生で発生するかもしれないリスクです。リスクの備えには、リスクを回避すること、予防すること、減らすことですが、リスクが現実のものとなってしまった時は大きな損失となってしまう場合があります。減多には起こらないけれど万が一自分や家族の身に降りかかったら大きな損失をもたらすリスクもあります。例えば幼い子供を残して大黒柱が病死してしまうとか交通事故で他人を死傷させてしまい多額の損害賠償を支払わなければならないといったケースです。そこで考えられるのが「保険」です。

保険は大きく「生命保険」、「医療保険」、「損害保険」の3つに分けられます。

生命保険は、主に「生命」に関するリスクに備える保険であり、死亡のリスク(遺された家族の生活に及ぼすリスク)、長生きのリスク(老後の生活における経済的なリスク)に備えるものです。

医療保険は、主に「病気・ケガ」に関するリスクに備える保険であり、病気やケガなどにより、入院や手術の費用を賄うお金が不足するリスクや仕事ができなくなり収入が減少するリスクに備えるものです。

損害保険は、主に「モノ」に関するリスクに備える保険であり、車のリスク(交通事故等による対人・対物・自損などの損害によるリスク)、住まいのリスク(火災や地震などにより、建物や家財が損害を受けるリスク)、損害賠償のリスク(他人にケガを負わせたり、モノに損害を与えたりした場合のリスク)に備えるものです。

このように、保険が利用できるリスクは実にさまざまなものがあります。

長い人生の中で年代とともに変わるリスクに対応するために保険の見直しも必要でしょう。個人や家庭生活を取り巻くリスクは家族構成やライフスタイルによっても変化することから社会保障制度も考慮に入れて対策を講じる必要があります。

コロナ禍での3度目の卒業・進学・就職シーズン到来です。新生活のスタートは「備えあれば憂いなし」でいきましょう。

### 【編集後記】

春の足音が微かに聞こえるようになってきた。



しかし、北海道ではホワイトアウトが荒れ狂い、飛行機も電車も欠航が相次ぎ車も立ち往生と大変な嵐となった。

国内の変異ウイルス6波もやや峠をこえた兆しも見えるが、秋田県などは連日200人超えで、特に学校や保育園などでクラスターが発生している。油断禁物である。

ウクライナではロシア軍が軍事行動に踏み切り、今世紀最大の危機に直面している。一日も早く温かい春の日差しを浴びられるようになってほしい。